

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年3月17日 (2011.3.17)

【公表番号】特表2010-518024(P2010-518024A)

【公表日】平成22年5月27日 (2010.5.27)

【年通号数】公開・登録公報2010-021

【出願番号】特願2009-548484(P2009-548484)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

C 1 2 N 5/0784 (2010.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/02 (2006.01)

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

A 6 1 K 39/002 (2006.01)

A 6 1 K 35/12 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 39/39 Z N A

C 1 2 N 5/00 2 0 2 M

C 0 7 K 19/00

C 0 7 K 16/28

C 1 2 N 15/00 A

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 U

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/00 K

A 6 1 K 39/02

A 6 1 K 39/12

A 6 1 K 39/002

A 6 1 K 35/12

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月31日 (2011.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

D C - A S G P R 特異的抗体又はその断片と抗原とが結合した抗体 - 抗原複合体を含む医薬組成物であって、前記抗体 - 抗原複合体と接触した樹状細胞により、前記抗原がプロセシング及び提示されることを特徴とする、抗原提示の有効性を増大させる医薬組成物。

【請求項 2】

抗原提示細胞が樹状細胞である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

DC - ASGPR 特異的抗体又はその断片が、コヘリン/ドックリン対の半分に結合している、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

DC - ASGPR 特異的抗体又はその断片がコヘリン/ドックリン対の半分に結合し、抗原が前記コヘリン/ドックリン対の相補的な半分に結合して複合体を形成する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

抗原が、ペプチド、タンパク質、脂質、炭水化物、核酸、及びそれらの組合せから選択される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

抗原特異的ドメインが、MHC クラス I、MHC クラス II、CD 1、CD 2、CD 3、CD 4、CD 8、CD 11b、CD 14、CD 15、CD 16、CD 19、CD 20、CD 29、CD 31、CD 40、CD 43、CD 44、CD 45、CD 54、CD 56、CD 57、CD 58、CD 83、CD 86、CMRF - 44、CMRF - 56、DCIR、DC - ASGPR、CLEC - 6、CD 40、BDCA - 2、MARCO、DEC - 205、マンノース受容体、ランゲリン、DECTIN - 1、B7 - 1、B7 - 2、IFN - 受容体及び IL - 2 受容体、ICAM - 1、Fc 受容体、又は抗原提示細胞により比較的特異的に発現される他の受容体から選択される免疫細胞表面タンパク質に特異的である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

抗原が、細菌性、ウィルス性、真菌性、原生動物性、又は癌性のタンパク質を含む、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

抗原が結合した DC - ASGPR 特異的抗体又はその断片と抗原とが結合した抗体 - 抗原複合体を含む医薬組成物であって、前記抗体 - 抗原複合体と接触した樹状細胞により、前記抗原がプロセッシング及び提示される医薬組成物。

【請求項 9】

樹状細胞の有効性の増大が、同種異系 CD 8⁺ T 細胞を使用して決定される、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

防御的又は治療的免疫応答を誘発する目的で抗原を抗原提示細胞に送達するための、DC - ASGPR に対する抗体又は他の特異的結合分子。

【請求項 11】

皮膚を介するワクチン接種のための、DC - ASGPR に特異的な抗原ターゲティング試薬。

【請求項 12】

同時投与又は連結されたワクチン接種用アジュバントと併用した、DC - ASGPR に特異的な抗原ターゲティング試薬。

【請求項 13】

組換え抗原 - 抗体融合タンパク質として発現することができる特異的抗原を有するワクチン。

【請求項 14】

哺乳動物細胞から分泌された抗原特異的抗 DC - ASGPR 免疫グロブリン又はその断片、及び前記免疫グロブリンに結合した抗原。

【請求項 15】

抗原が免疫グロブリンとの融合タンパク質である、請求項 14 に記載の免疫グロブリン。

【請求項 16】

抗原が、細菌性、ウィルス性、真菌性、原生動物性、又は癌性のタンパク質を含む、請求項 14 に記載の免疫グロブリン。

【請求項 17】

免疫グロブリンがコヒーシンドックリンドメインの半分に結合している、請求項 14 に記載の免疫グロブリン。

【請求項 18】

モジュール r A b 担体と複合体を形成する抗原に結合した、コヒーシンドックリン結合対の相補的な半分にさらに含む、請求項 14 に記載の免疫グロブリン。

【請求項 19】

抗原との融合タンパク質であるコヒーシンドックリン結合対の相補的な半分にさらに含む、請求項 14 に記載の免疫グロブリン。

【請求項 20】

抗原特異的ドメインが、完全長抗体、抗体可変領域ドメイン、F a b 断片、F a b ' 断片、F (a b) 2 断片、及び F v 断片、並びに F a b c 断片及び / 又は F c ドメインの部分を持った F a b 断片を含む、請求項 14 に記載の免疫グロブリン。

【請求項 21】

免疫グロブリンが、放射性同位元素、金属、酵素、ボツリヌス毒素、破傷風、リシン、コレラ、ジフテリア、アフラトキシン、ウェルシュ菌毒素、マイコトキシン、志賀毒素、ブドウ球菌エンテロトキシン B、T 2、セグイトキシン、サキシトキシン、アブリン、シアノジノシン、菌毒、テトロドトキシン、アコノトキシン、ヘビ毒、及びクモ毒からなる群から選択される毒素に結合している、請求項 14 に記載の免疫グロブリン。

【請求項 22】

抗原が免疫グロブリンとの融合タンパク質である、請求項 14 に記載の免疫グロブリン。

【請求項 23】

抗原が、細菌性、ウィルス性、真菌性、原生動物性、又は癌性のタンパク質を含む、請求項 14 に記載の免疫グロブリン。

【請求項 24】

抗原が、T 及び B 細胞リンパ増殖性疾患、卵巣癌、膵臓癌、頭頸部癌、扁平上皮癌、消化管癌、乳癌、前立腺癌、又は非小細胞肺癌から選択される癌細胞又はその一部を含む、請求項 14 に記載の免疫グロブリン。

【請求項 25】

治療的又は防御的適用での、単独で又は共活性化作用物質と共に D C - A S G P R に関して抗原提示細胞を活性化する作用物質。

【請求項 26】

D C - A S G P R を介する免疫細胞の不適切な活性化から生じることが知られている又は疑われている疾患に関連した治療目的での、毒性作用物質に連結された抗 D C - A S G P R 作用物質。

【請求項 27】

抗体 - 抗原複合体を形成する抗原が結合した D C - A S G P R 特異的抗体又はその断片を含み、前記抗原が前記抗体 - 抗原複合体と接触した樹状細胞によりプロセッシング及び提示されるワクチン。